



平成 25 年 12 月 5 日

平成 26 年 2 月 28 日

27 年 2 月 27 日

新保大池改修に関する要望書

再要望書

氷見市長
本川 祐治郎 様

請願者 氷見市
4.25.12 新保自治会長 片折郁男



[要望趣旨]

4.26.2 新保自治会長 清水英行
27.2

平素より、当地域の農業振興に格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

当地域では、新保大池と堂の池を主な水源として約 30ha の水田を耕作しております。

新保大池は、明治初期に造成されたため池で、大変老朽化が進んでおり平成 21 年 12 月には 2 本ある斜樋の内 1 本に大きな穴があき、大規模な漏水が発生しました。幸いにも人的被害は無く民家 1 軒の庭の浸水被害で済みましたが、去る平成 25 年 10 月にもう 1 本ある斜樋の底樋付近からの漏水で堤体に再び大きな穴があきました。幸い、発見が早く水抜きも早かったので決壊には至りませんでした。ため池直下には民家や通学路があり大変心配しております。この状況を解消するためには、ため池の改修工事が必要と考えております。

つきましては、財政状況極めて厳しい折とは存じますが、新保大池の改修工事の実施について格別のご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

[要望項目]

新保大池の改修

新保大池(歴史的文化遺産価値)
[歴史的農業遺産]

歴史的文化遺産としての新保大池 水利功労者

新保大池は、1830～1844年ころ、江戸末期に、村を干ばつから防ぐために、の強い決意によって工事が始められた。しかし、難工事とわずかの助成金のため「私財をなげうっても大池を造ろう」と決心してその場でまげを切って覚悟のほどを示した。

ついに堤防 200m、堤高 5m の大池が完成した。しかし、は、家屋敷を売り払い、1853年村を出て行方不明となった。

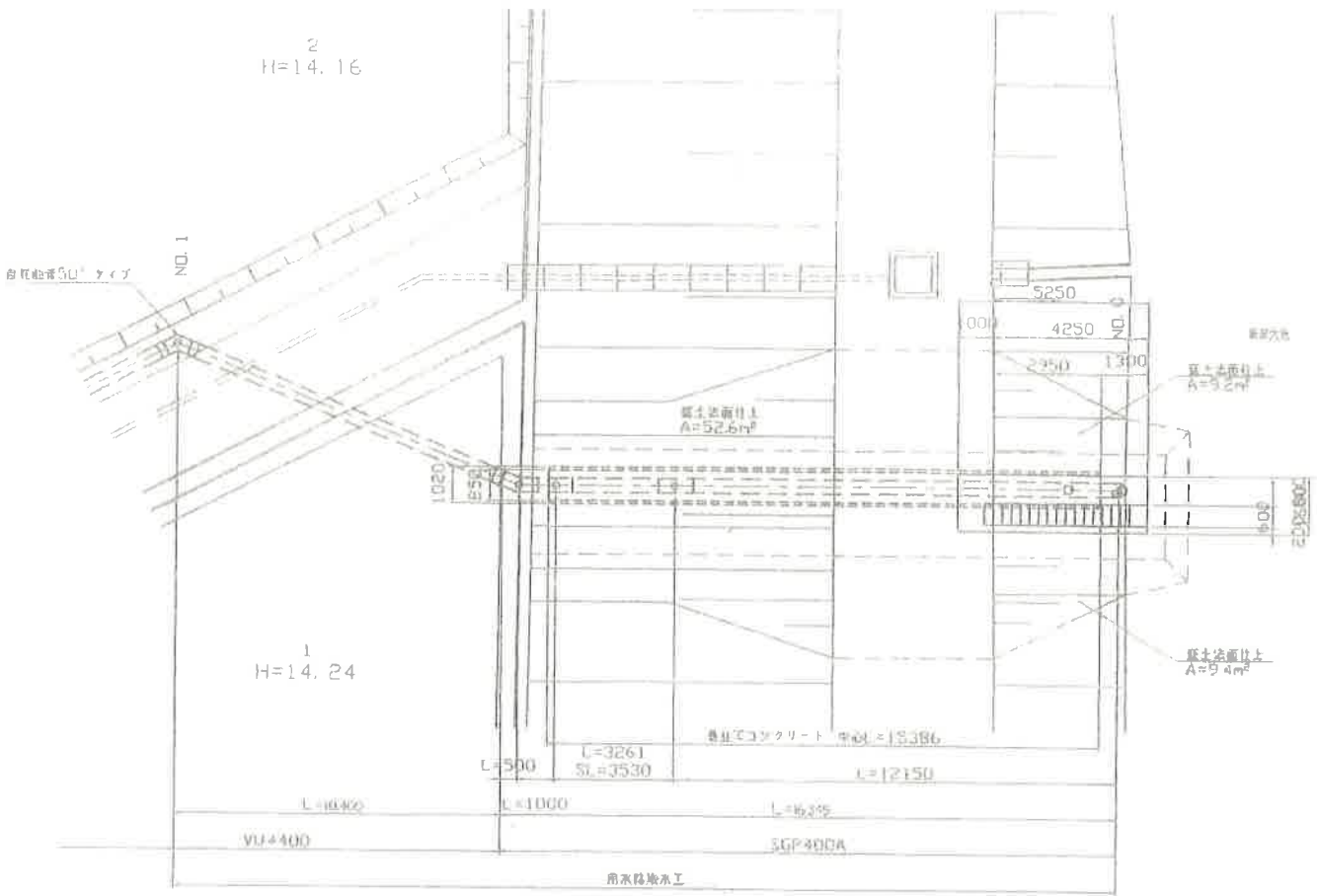
池は完成したが水はたまりにくい欠点があった。そこで1851年、は小窪村から500mの水路を造って小窪の川から水を取り入れた。その水路のうち、100mはトンネルで今もトンネルの出入り口は残っている。

江戸時代

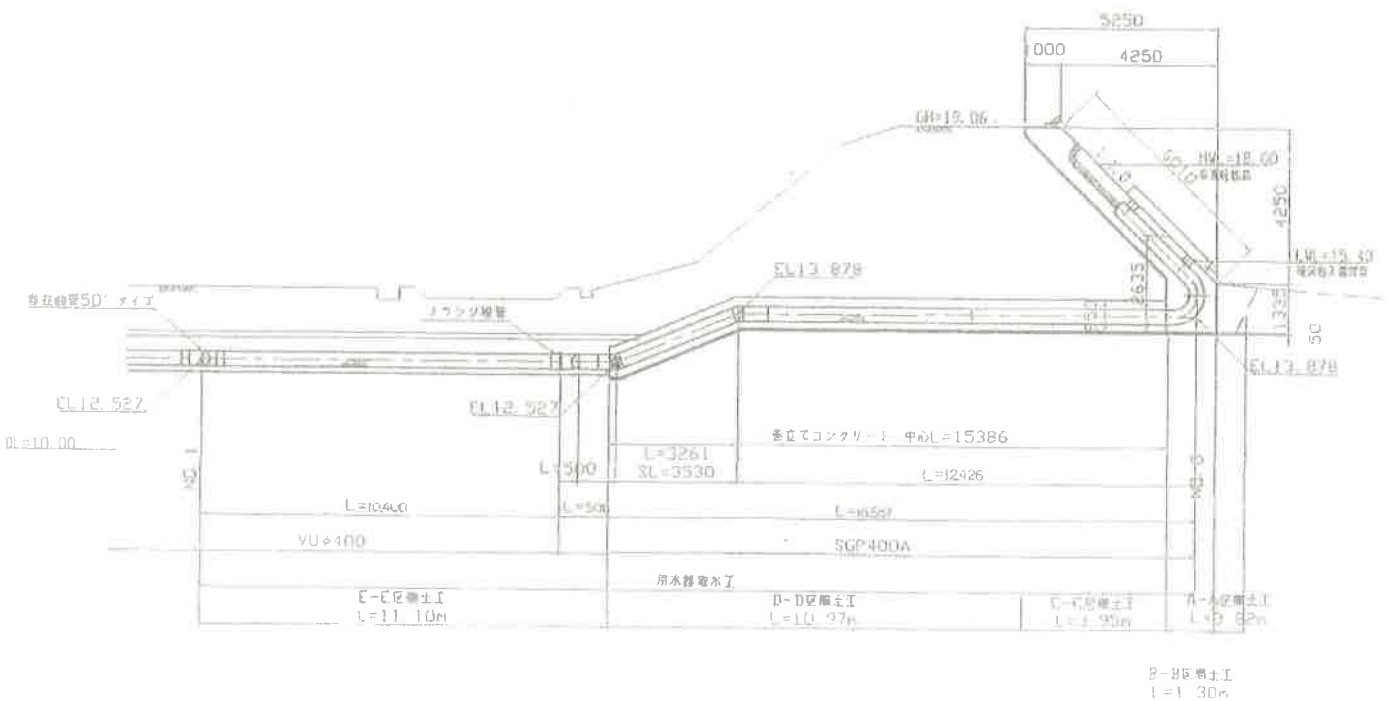


新保大池

平面図
S=1/100



側面図
S=1/100



新保大池の漏水について

1. ため池概要

- (1) 貯水量：21,000m³
- (2) 堤防高：5.5m
- (3) 堤防長：170m
- (4) 受益面積：20ha
- (5) 造成年代：明治時代

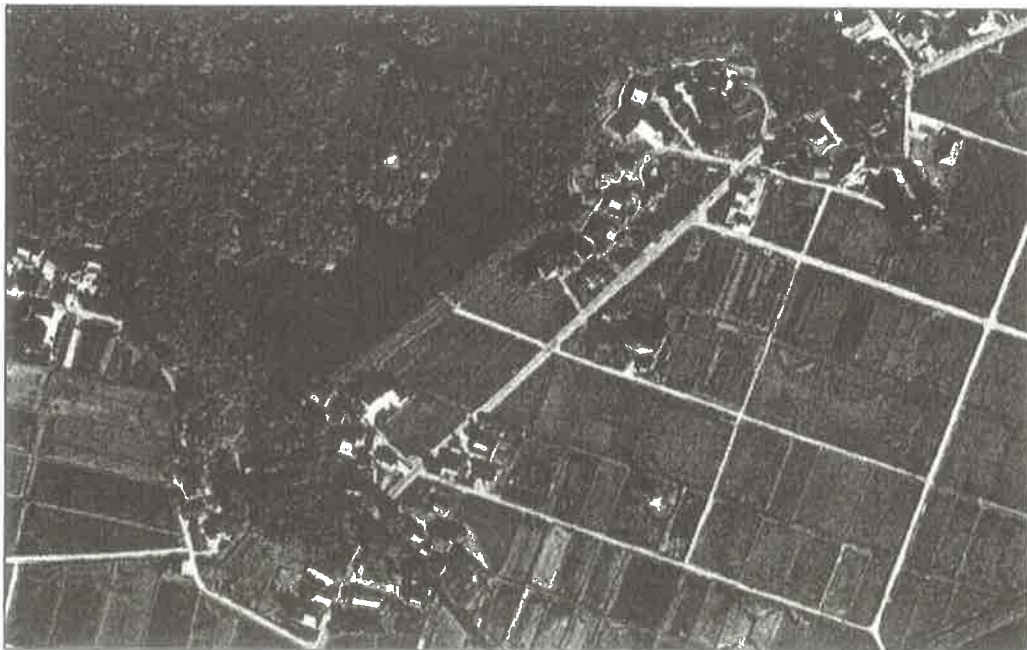
2. 事故の状況

- (1) 地区役員が、約1ヶ月前に底樋に泥がたまっているのを発見。
- (2) 地区役員が、約3週間前に旧斜樋から注水したところ、堤体下流から泥水が噴き出したため、再度斜樋の栓を閉め、業者に試掘調査を依頼。
- (3) 業者が、10月27日（日）午前中に試掘したところ、堤体下流に空洞を発見したため作業を中止。
- (4) 地区役員が、下流人家に注意喚起するとともに、水位を低下させるため、新斜樋から放流を開始。
- (5) 土改、市、センター職員が、10月28日（月）現地を確認。
- (6) 原因としては、底樋管の木管部分が一部腐食したことにより、接続部から抱土の吸出しが生じ、空洞ができたものと想定される。

3. 今後の予定

- (1) 緊急放流を継続し、池の水を抜く。
- (2) 陥没部へのブルーシートを施工
- (3) . . .

11.25.12 緊急修理



ため池直下に住宅、県道（通学路）があり、決壊した場合の被害が大きい。



H25.10.27 小崎組に試掘
してもらった。その状況、堤体内の空洞の状況

底樋(木製)が腐食し土管との繋ぎ目に大きな隙をあけていた。



老朽化した斜樋・底樋



新設のパイプライン用の斜樋には底樋が無い

本館とこの水田との間に斜樋が
設置され、堤体の老朽化が防止



管體製空洞
有孔管を突込み
φ100
三ヶ所を吸出し防止
のため(河川用)で
中1m くらいた。長7m

